



総合戦略の施策と重要業績評価指標
(KPI)
(2020年度～2024年度)
【具体的施策の実績】

日 時：令和6年11月1日（金）午後6時30分～

場 所：小豆島町役場本館 3F 大会議室

総合戦略の施策と重要業績評価指標(KPI) 2020年度～2024年度

I 健康づくり

| 施 策 | 具 体 的 な 施 策 の 内 容 | 重 要 業 績 評 価 指 標 (K P I) | 直 近 の 実 績 値 |
|--|---|---|---|
| ①小豆島中央病院を核とした地域包括ケアシステム【小豆島モデル】の実現に向けて | 小豆島中央病院を核として、小豆島全体で多職種と島民が一緒になり、できる限り健康寿命（健康な期間）を延ばし、住み慣れた自宅で暮らすことができるようにする「地域包括ケアシステム【小豆島モデル】」を実現させる。 | - | <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア病床 32床 ・多職種連携会議・介護部会研修会 1回開 （令和6年10月現在） |
| ②オリーブによる健康・長寿の島づくり | ① 家庭・学校給食での料理の普及 ② 小豆島の食材を活かした新たな料理開発 ③ 生活習慣病の予防による健康・長寿の実現 ④ オリーブを用いた料理によるオリーブ観光の推進 | オリーブを用いた各種教室・講座等の実施回数 令和元年度（2019）31回 →令和6年度（2024）35回 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 6回 （令和6年9月現在） |
| ③健康づくりのリーダーの養成・自主的な健康づくりの推進 | 健康づくりのリーダーを養成し、自主的な健康づくりを推進することにより、健康寿命を延ばす。（オリーブ健康塾、健康アカデミー、グループ活動支援、健康ポイントなど） | 健康ポイント参加者数とポイント数 令和元年度（2019）210人・322ポイント →令和6年度（2024）250人・380ポイント | <ul style="list-style-type: none"> ・健康ポイント参加者 118人 ・ポイント数 648,000ポイント （令和5年） ※R5からポイント付与方法変更 |
| ④生涯現役を目指し、高齢者が多様な分野で活躍できる社会づくり | 高齢者の状態に応じた様々な就労・社会参加の取り組みの充実を図る。（培ってきた知識や経験を活かせる高齢者の活躍を推進、介護予防ボランティア制度の実施、老人クラブやサロン活動の支援、シルバー人材センターの活動） | サロン活動の取組推進 令和元年度（2019）36箇所 →令和6年度（2024）40箇所 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 53箇所 （令和6年10月現在） |

総合戦略の施策と重要業績評価指標(KPI) 2020年度～2024年度

Ⅱ 福祉の充実

| 施 策 | 具 体 的 な 施 策 の 内 容 | 重 要 業 績 評 価 指 標 (K P I) | 直 近 の 実 績 値 |
|--|--|---|--|
| ①ぬくもりと希望の島づくり～人と人がつながり、支え合い、だれもが安心していられる希望の島へ～ | 障がいがあっても、できる限り住み慣れた地域で暮らすことができる社会を目指し、まなぶ場、くらす場、はたらく場、ふれあう場をつくる。 | - | <ul style="list-style-type: none"> ・小豆島みんなの支援学校開校 ・障害福祉サービス充実に向けた支援 ・補助事業の対象者等を拡大 ・障害に対する理解の促進 ・交流事業（農業体験・スポーツ大会）の実施 ・権利擁護の推進 |
| ②医療・福祉の人財確保・育成 | 多様な人財の確保・育成に努める。（今働いている人を支援する、今休んでいる人に働いてもらう、将来小豆島で働く人を育てる、島外から小豆島で働ける人に来てもらう） | サービス提供量の維持 令和6年度（2024） 令和元年度のサービス提供量を維持する | <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員初任者研修島内開催：各年1回 ・介護職員初任者研修費助成：6件（R2～R6） ・障害福祉研修費助成：27件（R2～R6） ・介護福祉士実務者研修費助成：13件（R2～R6） ・医療従事者の研修費や救急・産科Drの手当補助 ・保健医療福祉関係職修学資金 新規貸付 R2～R6：27件 対象職種に「准看護師」追加（R5～） ・移住者への家賃・リフォーム費助成 R3～R6：8件（医療・福祉人材のみ） |

総合戦略の施策と重要業績評価指標(KPI) 2020年度～2024年度

Ⅱ 福祉の充実

| 施 策 | 具 体 的 な 施 策 の 内 容 | 重 要 業 績 評 価 指 標 (K P I) | 直 近 の 実 績 値 |
|---------------------------------------|---|---|--------------------------------|
| ③認知症があっても、できる限り住み慣れた地域で暮らすことができる社会の実現 | 理解・権利擁護の促進や見守り支援体制の構築（サロン活動、認知症サポーター、みまもりタグ、認知症カフェ、関係機関の連携、成年後見制度支援、家族のつどいなど） | 認知症サポーター 令和元年度（2019）1,420人 →令和6年度（2024）1,670人 | ・ 2,025人 （令和6年10月現在） |
| ④地域の見守りシステムの構築（できる限り住み慣れた地域で暮らせるように） | 地域の見守り活動の構築（サロン活動、ボランティア活動支援、配食サービス、緊急通報、みまもりタグ、認知症カフェなど） | 介護予防サポーター 令和元年度（2019）479人 →令和6年度（2024）604人 | ・ 573人 （令和6年10月現在） |

総合戦略の施策と重要業績評価指標(KPI) 2020年度～2024年度

Ⅲ 産業づくり

| 施 策 | 具 体 的 な 施 策 の 内 容 | 重 要 業 績 評 価 指 標 (K P I) | 直 近 の 実 績 値 |
|-------------------------------------|--|--|---|
| ①地域資源を活かした小豆島ブランドの確立に向けて | 1.関係者インタビュー・企業訪問などを実施し、小豆島の現状の把握、課題の抽出を行う。 2.ブランドの核となるコンセプトを確定し、仮説をもとに長期的なブランディング戦略を策定する。 3.ブランドのコンセプトを内外に示し、浸透を促すため、言語化・可視化を行う。 4.ブランドのコンセプトを具体的に、イベント、プログラム等の形に落とし込み、島内外の様々な人に対し、コンセプトを体験してもらう。 | 町民税納税義務者1人あたりの平均所得 平成30年(2018) 2,439千円 ↓(約10%の増) 令和6年(2024) 2,700千円 | ・ 2,863千円 (令和6年10月現在) |
| ②外国人との共生社会に向けた取り組み | 1.町内の実態把握を目的とした基礎調査の実施。 2.町民と外国人が共に活躍できる環境整備。 3.企業・地域と連携した受け入れ体制や多文化共生に向けた意識の醸成。 | 小豆島町在住外国人数 令和元年度(2019) 156人 →令和6年度(2024) 250人 | ・ 210人 (令和6年10月現在) |
| ③島の新たな宿泊環境の創造～農泊事業と集落再生の取り組み～ | 新たな宿泊施設の創造と集落再生に向けて、民間事業者による農泊事業に取り組む。(農山漁村の持つ豊かな自然や食などの地域資源の活用や古民家(空き家)や耕作放棄地など、地域に残る資源を再生して、カフェ、宿泊施設、体験農園などを整備など) | 民泊・農泊の登録件数 (第1期計画からの累計) 令和元年度(2019) 12カ所 →令和6年度(2024) 34カ所 | ・ 34カ所 (令和6年9月現在) |
| ④観光振興の取り組み～2025大阪・関西万博を絶好のチャンスと捉えて～ | 新たな観光資源の発掘や磨き上げ、情報発信、他団体等との協働、島外へのPR出展、受入環境の整備など | 小豆島推定観光入込客数 令和元年(2019) 1,153千人 →令和6年(2024) 1,200千人 | ・ 631千人 (令和6年8月現在) ・ 916千人 (令和5年度) |

総合戦略の施策と重要業績評価指標(KPI) 2020年度～2024年度

IV 農業・漁業の振興

| 施 策 | 具 体 的 な 施 策 の 内 容 | 重 要 業 績 評 価 指 標 (K P I) | 直 近 の 実 績 値 |
|--|---|---|--|
| ①農業の担い手の育成と農地の利用集積・集約化の推進～人・農地プランの実質化～ | 実質化された人・農地プランを作成する。(① アンケートの実施② 現況把握③ 中心経営体への農地の集約化に関する将来方針の作成) 各種補助事業を活用した担い手を確保・育成する。 | 担い手の農地利用集積率 平成30年度(2018) 24.7% →令和6年度(2024) 40% | ・ 34.7% (令和5年度) |
| ②小豆島町漁業振興協議会を核とした漁業の振興 | 小豆島町漁業振興協議会において、漁業の活性化策について協議し、魅力発信、生産強化、販売強化、担い手対策を実施する。 | 総水揚高 令和元年(2019) 458百万円 →令和6年(2024) 458百万円 | ・ 397百万円 (令和5年度) |
| ③オリーブトップワンプロジェクトの推進 | 安定生産と高品質化のための研究・開発、担い手の育成と6次産業化の推進、産地間競争を生き抜く製品づくり、ブランドイメージの向上を実施する。 | 小豆郡内5年間平均オリーブ収穫量 平成27年度～令和元年度 375 t /年 →令和2年度～令和6年度 410 t /年 | ・ 418t (令和5年度) |
| ④有害鳥獣対策の推進 | 【捕獲】 ・有害鳥獣捕獲奨励事業・狩猟免許申請手数料助成事業・狩猟免許保持経費助成事業・鳥獣被害防止対策協議会事業・猟友会の活動支援・狩猟講習会の開催 【防護】 ・農地被害防止柵の資材購入助成・市街地被害防止柵の資材購入助成 【環境】 ・緩衝帯整備に対する助成・イノシシ等被害復旧支援事業 | 有害捕獲実施者の増加 令和元年度(2019) 115名 →令和6年度(2024) 140名 | ・ 89名 (令和6年度) |
| | | 侵入防止柵、緩衝帯の整備 令和元年度(2019) 侵入防止柵25km 緩衝帯16km →令和6年度(2024) 侵入防止柵35km 緩衝帯24km | ・ 侵入防止柵：38.8km ・ 緩衝帯：16.05km (令和5年度) |

総合戦略の施策と重要業績評価指標(KPI) 2020年度～2024年度

V 防災・環境

| 施 策 | 具 体 的 な 施 策 の 内 容 | 重 要 業 績 評 価 指 標 (K P I) | 直 近 の 実 績 値 |
|--------------------------------|--|---|--------------------------------------|
| ①国土強靱化地域計画を策定し、ハード・ソフト両面の対策を推進 | ハード面、ソフト面の取組を効果的に組み合わせ、バランスのある防災・減災対策を推進する。（町の防災体制の充実・強化、家庭・地域の防災力向上、避難施設の整備・避難体制の強化、消防団の救助能力向上） | 危機管理プログラム受講者数 令和元年度（2019）0人 →令和6年度（2024）50人 | ・45人 （令和6年10月現在） |
| | | 補助制度を活用した防災士資格取得者数 令和元年度（2019）0人 →令和6年度（2024）15人 | ・8人 （令和6年10月現在） |
| ②神戸航路を活用した寄港地との連携協定による防災対策の充実 | 大規模災害において、車中泊避難者、医療・介護・看護の必要な避難者、在宅医療患者等の避難者を定期フェリーで寄港地に移送し、必要な支援等を行い災害関連死を防ぐ。神戸～小豆島～高松フェリーでの実証訓練を実施する。連携協定の締結により防災対策を充実させる。 | 寄港地との防災協定数 令和元年度（2019）0件 →令和6年度（2024）2件 | ・0件 （令和6年10月現在） |
| ③新たなごみ中間処理施設の整備 | 中間処理施設を新たに整備し、ゴミの減量化等を推進することにより持続可能な地域社会の実現を目指す。中間（破碎選別）処理施設の広域的整備及び合理的な運営方法を導入する。 | 中間（破碎選別）処理施設の整備 令和元年度（2019）0件 →令和6年度（2024）運用開始 | ・0件 令和6年度に計画の見直しを行い早期供用開始を目指している。 |
| ④空き家等対策計画の着実な実践 | 老朽危険建物の除却推進、空き家の発生予防に向けた情報提供の実施、地域コミュニティ及び関係団体と協同した空き家等の適正管理の促進。 | 老朽危険建物の除却件数 平成27年度～令和元年度166件 →令和2年度～令和6年度100件 | ・98件 （令和6年10月現在） |
| | | 空き家バンク登録物件の5年間平均成約件数 平成26年度～30年度 38件/年 →令和元年度～令和6年度 40件/年 | ・48.4件 （令和6年10月） |

総合戦略の施策と重要業績評価指標(KPI) 2020年度～2024年度

VI つながり・交流

| 施 策 | 具 体 的 な 施 策 の 内 容 | 重 要 業 績 評 価 指 標 (K P I) | 直 近 の 実 績 値 |
|---|--|--|--|
| ①地域おこし協力隊の活用 | U I J ターン者の経験・知識、ネットワークを活用する地域おこし協力隊員の知恵とパワー、情熱で、文化・伝統・産業など島の魅力づくりを推進する。 | 協力隊員数 令和元年度(2019) 0人 →令和6年度(2024) 12人 | ・13人 (令和6年10月現在) |
| ②関係人口の増加に向けた取組み ー 大学・企業等との包括連携協定を活かしてー | 何度も訪れる人、島外で魅力を発信する人、二地域居住の人、副業・兼業等で島に関わる人、調査研究する人などの関係人口を増加させる。 | 移住者数と5年後定住率 平成30年度145人・50.4% →令和6年度140人・60% | ・202人・67.2% (令和5年度) |
| | 関係人口の増加に向けて、大学・企業等とのさらなる包括連携協定の拡大させる。日本・世界の人と新しい関係を構築し、人が集い元気なまちを実現させる。 | 包括連携協定数 令和元年度(2019) 7団体 →令和6年度(2024) 12団体 | ・22団体 (令和6年10月現在) |
| ③国際化に向けた人財育成の取組み～福武ハウス等を活かして～ | <ul style="list-style-type: none"> ・福武ハウスを瀬戸芸開催年にとどまらず、毎年開館 ・パートナー組織の拡大→中国、ベトナム、フィリピン等 ・外国人観光客に加えて、外国人定住者も楽しく参加できるイベントの開催 ・外国人との交流を通じた視野拡大など地域の人財育成 ・アジア各国の食文化をテーマとしたワークショップの開催 | 定住外国人のイベント等の参加者数 令和元年度(2019) 0人 →令和6年度(2024) 50人 | ・30人 (令和5年度) ※令和3年度から外国人向け日本語教室を開始 |

総合戦略の施策と重要業績評価指標(KPI) 2020年度～2024年度

VI つながり・交流

| 施 策 | 具 体 的 な 施 策 の 内 容 | 重 要 業 績 評 価 指 標 (K P I) | 直 近 の 実 績 値 |
|-------------------------|--|---|---|
| ④通院、通学、物流、観光等を支える基盤整備 | <p>拡幅等の改良事業や、老朽化した道路舗装の修繕工事を実施し、島内外の利用者が安全に、快適に通行できる環境を目指す。町内の275橋の橋梁について、「小豆島町橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、長寿命化対策を実施し、道路の安全性を確保する。港湾施設の改良や老朽化対策の実施により、港湾機能を維持し、定期航路の確保、プレジャーボートの利用促進、クルーズ船の誘致効果を高めるとともに、坂手港に観光振興ターミナルを整備し、観光や交流、移住施策の核として地方創生・地域活性化を目指す。日下部港については、香川県への移管を協議し、観光港として官民連携により整備を進める。</p> | <p>小豆島観光客数 令和元年（2019）1,153千人 →令和6年（2024）1,200千人</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 631千人 （令和6年8月現在） ・ 916千人 （令和5年度） |
| ⑤Society5.0の実現に向けた研究の推進 | <p>Society5.0の実現に向け、香川県や香川大学と連携し、先端技術（自動運転、AI、5G等）の研究を推進する。</p> | - | <ul style="list-style-type: none"> ・ 空飛ぶクルマ実証飛行イベントの開催 （令和6年9月） |

総合戦略の施策と重要業績評価指標(KPI) 2020年度～2024年度

Ⅶ 子育て・人づくり

| 施 策 | 具 体 的 な 施 策 の 内 容 | 重 要 業 績 評 価 指 標 (K P I) | 直 近 の 実 績 値 |
|------------------------------|--|---|---|
| ①小豆島町すくすく子育て応援アクションプラン～第2期～ | 1. 魅力ある町の発信（小豆島の魅力を発信） 新しい情報発信ツールを増やすとともに、全ての情報を集約できるホームページを見直し、情報発信の中心として、人と情報をつなげる。 | ホームページ子育て応援サイト 情報更新回数 令和元年度（2019）月1回 →令和6年度（2024）月3回 | ・月平均3回以上 （令和6年度） |
| | 2. 地域による子育て応援（地域にある資源の活用） 出生児の出生届の際に役場窓口で、贈りもの（木箱とカード）を贈呈。木箱の中に入れるカードは小豆島に縁のあるアーティスト・クリエイター・団体と制作。 | - | 贈り物贈呈数 ・6件 （令和6年9月現在） ・41件 （令和5年度） |
| | 3. 子育てしやすい環境づくり（子育ての環境整備） スマートフォン・インターネットを通じたゲーム依存に対する啓発（親子でノーメディアデーの実施、時間の管理、約束は保護者も守る、スマホ以外で一緒に楽しむ） | 就学前児童の“約束を守って利用している”割合 令和元年度（2019）39% →令和6年度（2024）60% | ・ノーメディアデー 月1回実施 ・アンケート未実施 （令和6年度中実施予定） |
| ②③④幼・保、小、中、高の一貫教育の推進 | 健やかな子育てのための基礎づくり、就学に備えた生活習慣の形成 地域を愛する心の育成、学びの基礎づくり、切磋琢磨し勉強やスポーツなど一人ひとりの能力の向上、希望大学等への進学、将来の夢に向かってチャレンジ | 奨学金利用者のUターン者数 令和元年度（2019）10人/5年平均 →令和6年度（2024）12人/年 | ・10人 （令和6年度） |
| ⑤誰もが生涯を通じ「まなび・つどい・つながる」環境づくり | 学びの場づくり（楽しさと課題に応える学習機会を作る）、ひとづくり（地域づくりの担い手を育成）、つながりづくり（仲間づくりと様々な連携を意識した学びの促進）を行い、地域住民同士が学びあい、教えあう相互学習等を通じた人々の教養の向上、健康の増進等を図り、人と人の絆を強くする。 | 公民館利用者数 平成30年度(2018) 82千人 →令和6年度(2024) 90千人 | ・26千人 （令和6年9月末現在） |

総合戦略の施策と重要業績評価指標(KPI) 2020年度～2024年度

Ⅷ 文化・アート総合戦略

| 施 策 | 具 体 的 な 施 策 の 内 容 | 重 要 業 績 評 価 指 標 (K P I) | 直 近 の 実 績 値 |
|--|--|--|---|
| ①瀬戸内国際芸術祭の取組み | ART SETOUCHI（芸術祭の合間の年）で既存作品を活かし、継続した取組みや、瀬戸内国際芸術祭2022の開催に向けた準備を行う。 | 小豆島観光客数 令和元年（2019）1,153千人 →令和6年（2024）1,200千人 | ・631千人 （令和6年8月現在） ・916千人 （令和5年度） |
| ②地域の文化・伝統を守り、活用し、継承していく仕組みをつくる～文化財保存活用地域計画の策定～ | 「文化財保存活用地域計画」を策定し、文化遺産の把握（どんな地域の魅力（文化遺産）があるかについて、地域の方と一緒に考える）や、保存・活用方針の策定（地域や観光・商業等の方たちと一緒に、保存・活用の方法を考え、確実に後世へと伝える）を行う。 | 国、県、町の指定文化財数 令和元年度91件 →令和6年度100件 | ・91件 （令和6年度） |
| ③日本遺産の取組みについて（ビジョン） | 石の文化の魅力発信、交流人口の拡大と産業の活性化、普及啓発活動の推進、文化の力を活かした地域づくりを実施する。 | 小豆島観光客数 令和元年（2019）1,153千人 →令和6年（2024）1,200千人 | ・916千人 （令和5年度） |
| ④演劇やアートを通じたコミュニケーション教育の推進～文化と教育の先端自治体連合～ | ①令和2年度以降、非認知スキルの向上を目指したコミュニケーション教育に取組み、その効果検証などを共同実施する。 ②若手の職員研修などによる発見や交流を通して、5自治体のまちづくりについて相互理解を深めるとともに、人材育成を着実に進める。 ③第2回大会（令和2年度）を、小豆島町で開催する。 | 小中学校コミュニケーション教育 令和元年度（2019）全小中学校年1回 →令和6年度（2024）全小中学校年2回 | 小中学校コミュニケーション教育 ・各小学校年1回 ・中学校未実施 （令和6年9月末現在） |